

# 保健福祉レポート2022

## [目次]

### トピックス

#### トピックス

トピック1	新型コロナウイルス感染症に対する取組み	3
トピック2	新型コロナウイルス感染症・物価高騰に対する困窮者支援	6
トピック3	「孤独・孤立」の現状と対策	8
トピック4	発達障害者支援の取組み	11
トピック5	がん患者支援の新たな取組み	13
トピック6	国民健康保険料等の滞納に関する徴収業務	14
トピック7	動物の愛護及び管理に関する今後のあり方の検討	15
トピック8	YouTube・アニメーションを活用した人権啓発の展開	17

### 総論

#### 北九州市の保健福祉政策

第1	少子高齢・人口減少社会を取り巻く状況	21
第2	保健福祉施策の方向性	22
第3	保健福祉施策の進め方	24
○	地域福祉ネットワークづくり	48

### 各論

#### 具体的な取組み（～令和3年度実績を中心に～）

#### 第1 健康づくり

1	効果的な情報の提供	69
2	健康に関する学習や相談の機会の提供	71
3	地域での健康づくり活動の強化	74
4	効果的な健診システムの構築	77
5	高血圧プロジェクト～データ分析で健康課題を明確にし、脳を守って健康寿命の延伸へ～	80
6	健康を支援する環境整備	82
○	北九州市における自殺の状況と自殺対策	85

<b>第2 高齢者施策</b>	
1 健康づくり・介護予防の総合的な推進	89
2 活動的で充実した生活の支援	92
3 認知症対策の充実・強化	97
4 権利擁護・虐待防止の充実・強化	101
5 高齢者の地域社会への参加支援	104
6 地域における安全・安心の確保	104
7 身近な相談と地域支援体制の強化	106
8 介護保険事業の円滑な実施	112
9 高齢者を支えるサービスの充実	118
<b>第3 障害福祉施策</b>	
1 相談システムの構築	137
2 早期発見・療育体制の整備	139
3 保健・医療・福祉サービス基盤の整備と連携	142
4 自立支援のための地域基盤整備	151
5 雇用・就業機会の確保と拡大	154
6 障害のある人の人権の尊重と保障	156
7 社会参加の促進	156
<b>第4 バリアフリー対策</b>	
1 バリアフリーのまちづくり	163
2 心のバリアフリーの推進	165
<b>第5 健康危機管理・食の安全確保</b>	
1 健康危機管理	167
2 感染症対策の取組み	170
3 食の安全確保に向けての取組み	179
4 保健衛生等の検査・研究	182
<b>第6 地域医療</b>	
1 北九州市の医療の現状	185
2 医療相談・医療提供の取組み	186
3 北九州医療・介護連携プロジェクト	190
<b>第7 生活衛生</b>	
1 生活衛生の確保	193
2 動物の愛護及び管理事業の推進	195
3 火葬場の運営	196
<b>第8 保険年金</b>	
1 医療保険制度	197
2 国民健康保険と医療費の現状	198
3 後期高齢者医療制度	212

4	公的年金制度	217
<b>第9</b>	<b>生活保護等施策</b>	
1	生活保護制度	223
2	保護の種類	224
3	救護施設	225
4	北九州市の生活保護の状況	226
5	就労自立支援対策・医療・介護扶助の適正化及び 生活保護の不正受給対策について	228
6	ホームレス対策	230
7	生活困窮者自立支援制度	231
8	生活福祉資金	232
<b>第10</b>	<b>人権施策</b>	
	人権推進センターの取組み	233

## 資料編

○	基本データの全国との比較一覧表	241
○	北九州市の人口・世帯の状況	242
○	北九州市民の健康を取り巻く状況	245
○	北九州市の医療の現状	247
○	北九州市の高齢化の現状	248
○	北九州市の障害のある人の現状	250
○	少子化の進行と「子ども」「家庭」「地域社会」の現状	254
○	北九州市の財政状況	255
○	保健福祉局の組織図	258
○	区役所の組織図（保健福祉関係課抜粋）	259
○	保健福祉の組織の変遷	260

# 【 凡 例 】

・各事業・施設などについての担当課・問い合わせ先は、

① 各事業・施設などの紹介文に記載しております。

(例)

☎ 総務課 (TEL 5 8 2 - 2 4 9 7)

## ◆ 福祉・ボランティア教育の推進

☆ 福祉・ボランティア教育用副読本「やさしさのあるまちづくり」

☎ 総務課 (TEL 5 8 2 - 2 4 9 7)

本市では、子どもたちの成長に合わせ、福祉・ボランティア教育を推進しています。

その中で、小学生・中学生が親しみを持ちやすいように、写真やイラストをふんだんに盛り込んだ福祉・ボランティア教育用副読本「やさしさのあるまちづくり」(小学生用・中学生用・中学生用の教師用指導書)を作成し、市内すべての小学校、中学校、特別支援

② 紹介文中に記載がない場合は、頁下段に記載しております。

(例)

このページ内についての問合せは、本文に特に記載のない場合、  
健康推進課へ (TEL 0 9 3 - 5 8 2 - 2 0 1 8)

## 第1 健康づくり

### 1 効果的な情報の提供

#### (1) 身近な健康づくり情報の提供

健康づくりを実践するために必要な、食生活・運動・休養・こころの健康づくり・検診などの情報を効果的に提供しています。

#### ① 健康づくりに関する市民啓発

日本人の主な死因である「がん、心臓病、脳卒中」をはじめ、糖尿病や脂質異常症などのいわゆる生活習慣病は近年増加傾向にあり、その発症には「食生活、運動、休養、喫煙、飲酒」といった普段の生活習慣が大きく関与しています。また、最近では、マスコミなどを通じて、「健康」に関する様々な情報が市民生活に浸透することで、健康に対する気運の高まりを見せています。そこで、健康づくりのための生活習慣を基調とした啓発を行い、様々な切り口から健康づくりに対する意識の醸成を図ります。

#### ② 薬物乱用防止の啓発

☎ 地域医療課 (TEL 5 8 2 - 2 6 7 8)

☎ 保健所医務業務課 (TEL 5 2 2 - 8 7 6 6)

現在、薬物乱用は大きな社会問題となっており、国や県では、薬物乱用問題の早期解決に向けた総合的な対策を講じています。

本市においては、福岡県が設置する薬物乱用推進本部の一員として県内の関係機関との連携を図るとともに、近年、乱用者層の低年齢化が懸念されることを踏まえ、青少年に違法薬物の心身に及ぼす影響などについて正しい情報の提供や意識啓発を図る

ことを目的として「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」内に「薬物等乱用防止」対策部会を設置し、青少年を中心とした市民への取組みを行う体制を構築しています。

この取組みの一環として「6.26 国際麻薬乱用撲滅デー」に併せ、高校生と共に企画・運営を行う「ダメ。ゼッタイ。」ヤング街頭キャンペーンの実施、各種薬物乱用防止マニュアル冊子の小・中学校への配布、冊子を活用した小・中学生への薬物乱用防止教室の実施などの啓発活動を行っています。

また、平成25年度から「危険ドラッグ情報ダイヤル」を開設し、市民に危険ドラッグによる健康被害等の情報収集を行うほか、正しい情報や知識を提供し、健康被害の防止に向けて取り組んでいます。

☆ 危険ドラッグ情報ダイヤル

★ 電話番号：5 2 2 - 8 9 2 2

★ 受付時間：平日(月～金)

8:30～17:15

(年末年始、祝日を除く)

#### ③ 献血の推進

本市では、各区の献血推進協議会が中心となって、地域での「愛の血液助け合い運動」・「はたちの献血」などのキャンペーン活動を実施し、献血事業の推進及び献血に関する普及啓発活動に積極的に取り組んでいます。

☆ 400mL 献血について

このページ内についての問合せは、本文に特に記載のない場合、  
健康推進課へ (TEL 0 9 3 - 5 8 2 - 2 0 1 8)